

製品・事業活動関連環境データ

電動車販売実績

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020
電動車 合計	台	31,877	36,125	54,572	75,143	64,561
電動車販売比率	%	3	3	4	7	8
プラグインハイブリッド車 (PHEV)	台	23,850	28,296	47,238	47,758	35,553
国内	台	3,625	5,105	6,780	4,970	5,629
海外	台	20,225	23,191	40,458	42,788	29,924
電気自動車(EV)	台	1,153	773	766	1,015	1,566
国内	台	392	288	410	901	1,517
海外	台	761	485	356	114	49
ハイブリッド車(HEV)	台	6,874	7,056	6,568	26,370	27,442
国内	台	6,874	7,056	6,568	26,370	27,442
海外	台	0	0	0	0	0
世界販売(含む内燃機関車)	台	926,390	1,101,194	1,243,914	1,126,843	801,442

製品の燃費・CO₂排出量(企業平均)(※)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020	
米国(燃費)	輸入乗用車	mpg	41.3	44.6	45.9	45.4	45.5
	小型トラック	mpg	34.6	34.9	35.8	35.9	36.8
欧州(CO ₂ 排出量)	乗用車	g-CO ₂ /km	118	118	121	115.6	-
中国(燃費)	輸入車	L/100km	10.0	12.0	12.0	12.0	-
	現地生産車	L/100km	7.6	7.5	7.1	7.2	7.5

※：各国・地域の当局の公表値。米国は年式、欧州・中国は暦年

事業活動関連データ

CO₂排出量

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020
生産	千t-CO ₂	394	492	518	464	315
非生産	千t-CO ₂	67	63	70	62	53
日本	千t-CO ₂	362	387	404	348	245
アジア	千t-CO ₂	92	162	178	173	120
その他	千t-CO ₂	7	6	6	5	3
スコープ1(直接排出)	千t-CO ₂	102	119	119	110	79
スコープ2(間接排出)	千t-CO ₂	359	436	469	416	289
(スコープ1+2)合計	千t-CO ₂	461	555	588	526	368
スコープ3	千t-CO ₂ eq	32,592	38,721	42,580	35,429	20,286
(スコープ1+2+3)合計	千t-CO ₂ eq	33,053	39,276	43,168	35,955	20,654

集計の訂正とCO₂排出係数の見直しを反映し、遡って再計算しました。

対象拠点：三菱自動車工業株式会社、および各年度時点の環境マネジメント対象会社

2020年度の環境マネジメント対象会社については、P24をご参照ください。

CO₂排出係数について

- ・「地球温暖化対策の推進に関する法律にもとづく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」に準ずる
- ・海外電力の排出係数は、電気事業者別排出係数。一部拠点は、各年度のIEA “CO₂ Emissions from Fuel Combustion” または IEA “Emission factors” の排出係数

スコープ3内訳

(年度)

カテゴリ	単位	2016	2017	2018	2019	2020	対象範囲
1 購入した製品・サービス	千t-CO ₂ eq	5,389	5,855	6,900	6,331	4,043	連結 (生産のみ)
2 資本財	千t-CO ₂ eq	159	297	407	319	310	単体
3 スコープ1,2に含まれない燃料エネルギー	千t-CO ₂ eq	42	45	21	49	36	連結
4 輸送、配送(上流)	千t-CO ₂ eq	772	1,013	1,278	1,174	541	連結
5 事業活動から出る廃棄物	千t-CO ₂ eq	10	16	19	21	11	連結 (生産のみ)
6 出張	千t-CO ₂ eq	4	4	4	4	4	連結
7 雇用者の通勤	千t-CO ₂ eq	13	14	14	14	13	連結
8 リース資産(上流)	千t-CO ₂ eq	-	-	-	-	-	-
9 輸送、配送(下流)	千t-CO ₂ eq	-	-	-	-	-	-
10 販売した製品の加工	千t-CO ₂ eq	-	-	-	-	-	-
11 販売した製品の使用	千t-CO ₂ eq	25,623	30,731	33,199	26,833	14,927	全仕向け
12 販売した製品の廃棄	千t-CO ₂ eq	575	741	727	671	382	全仕向け
13 リース資産(下流)	千t-CO ₂ eq	-	-	-	-	-	-
14 フランチャイズ	千t-CO ₂ eq	5	5	12	13	19	国内販売 会社の一部
15 投資	千t-CO ₂ eq	-	-	-	-	-	-

エネルギー使用量(1次・2次エネルギー)

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020
総量	PJ(※)	8.3	9.9	10.2	9.5	6.9
生産	PJ	7.0	8.7	9.0	8.3	5.8
非生産	PJ	1.3	1.2	1.2	1.2	1.1
日本	PJ	6.5	7.0	7.2	6.6	4.9
アジア	PJ	1.6	2.8	2.9	2.8	1.9
その他	PJ	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

適用する係数の見直しを反映し、遡って再計算しました。

対象拠点：三菱自動車工業株式会社、および各年度時点の環境マネジメント対象会社
2020年度の環境マネジメント対象会社については、P24をご参照ください。

※：10の15乗ジュール 単位発熱量：「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」から引用

硫黄酸化物

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020
総排出量	t	182	184	218	163	125

集計の訂正を反映し、遡って再計算しました。

対象拠点：三菱自動車工業株式会社、および各年度時点の環境マネジメント対象会社
2020年度の環境マネジメント対象会社については、P24をご参照ください。

算定方法：使用燃料の硫黄分の重量を算定し、SO₂に換算

窒素酸化物

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020
総排出量	t	62	65	65	61	44

集計の訂正を反映し、遡って再計算しました。

対象拠点：三菱自動車工業株式会社、および各年度時点の環境マネジメント対象会社
2020年度の環境マネジメント対象会社については、P24をご参照ください。

算定方法：燃料使用量を環境省「環境活動評価プログラム」の排出係数にて換算

VOC(揮発性有機化合物)

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020
総排出量	t	2,166	1,882	2,354	2,243	2,480

対象拠点：岡崎製作所、水島製作所、パジェロ製造株式会社、水菱プラスチック株式会社

オゾン層破壊物質の排出

三菱自動車工業株式会社については、0.1t(CFC換算)未満と推計しています。

廃棄物発生量

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020
総排出量	千t	150	162	187	202	109
生産	千t	141	148	176	194	103
非生産	千t	9	14	11	8	6

対象拠点：三菱自動車工業株式会社、および各年度時点の環境マネジメント対象会社
2020年度の環境マネジメント対象会社については、P24をご参照ください。

廃棄物の発生・社外への排出状況(当社単体)

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020
発生総量	千t	93	99	104	89	58
社外排出	千t	47	48	56	53	40
社内再利用分	千t	46	51	48	36	18

原材料使用量

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020
鉄・アルミ	千t	137	143	154	141	97
樹脂類	千t	3.0	3.0	2.5	2.1	1.1

対象拠点：岡崎製作所、水島製作所、京都製作所

取水量

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020
総量	千m ³	5,606	6,727	6,211	5,915	4,420
生産	千m ³	5,295	6,343	5,901	5,654	4,188
非生産	千m ³	311	384	310	261	232
上水	千m ³	428	1,150	878	988	718
工業用水	千m ³	3,505	3,602	3,412	3,280	2,594
地下水	千m ³	1,673	1,975	1,921	1,647	1,108

対象拠点：三菱自動車工業株式会社、および各年度時点の環境マネジメント対象会社
2020年度の環境マネジメント対象会社については、P24をご参照ください。

・ミツビシ・モーターズ・クラマ・ユダ・インドネシア(MMKI)では、排水の一部をリサイクル・再利用しています
2020年度は、約119千m³をリサイクル利用しました(当社グループ全体の取水量の約2%)

排水量

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020
総量	千m ³	3,977	4,577	4,504	4,104	3,266
生産	千m ³	3,666	4,193	4,194	3,843	3,034
非生産	千m ³	311	384	310	261	232
下水	千m ³	1,708	2,405	2,396	2,041	1,713
公共水域	千m ³	2,269	2,172	2,108	2,063	1,553

対象拠点：三菱自動車工業株式会社、および各年度時点の環境マネジメント対象会社
2020年度の環境マネジメント対象会社については、P24をご参照ください。

・一部推計を含みます

環境会計

〈環境保全コスト〉

(年度)

分類	主な取り組みの内容		単位	2018		2019		2020	
				投資額	費用額	投資額	費用額	投資額	費用額
事業エリア内コスト	公害防止コスト	大気汚染防止、水質汚濁防止、土壌汚染防止	百万円	106	1,315	41	1,251	203	629
	地球環境保全コスト	地球温暖化防止、オゾン層破壊防止	百万円	171	13	250	9	346	13
	資源循環コスト	廃棄物発生量低減・適正処理、再利用の促進	百万円	22	1,226	0	1,418	0	933
上・下流コスト	使用済みバンパーの回収、自動車リサイクル法対応		百万円	0	1,770	0	1,688	0	1,661
管理活動コスト	ISO14001の認証維持、社員教育、モニタリング		百万円	56	680	130	420	18	588
研究開発コスト	燃費向上、排出ガス対策など製品の環境負荷低減に関する研究開発		百万円	1,116	41,527	1,711	51,383	456	32,731
社会活動コスト	環境体験授業活動、地球環境活動支援、環境関連団体への寄付、環境情報公開		百万円	68	239	0	273	47	189
環境損傷対応コスト	事業活動が環境に与えた損害への補償		百万円	0	138	0	12	0	5
合計			百万円	1,539	46,907	2,132	56,454	1,070	36,749

	単位	設備投資	研究開発費	設備投資	研究開発費	設備投資	研究開発費
〈参考〉当社グループ全体の設備投資、研究開発費	億円	1,377	1,243	1,039	1,308	764	1,014

〈環境保全対策にともなう経済効果(実質的効果)〉

(年度)

分類	主な取り組みの内容	単位	2018	2019	2020
収益	廃棄物のリサイクルまたは使用済み製品のリサイクルによる事業収入	百万円	2,512	1,774	1,083
費用節減	省エネルギーによるエネルギー費の低減	百万円	▲889	532	2,333
	節水による水道代の低減	百万円	▲3	8	31
	省資源またはリサイクルによる廃棄物処理費の低減	百万円	▲241	114	▲551
	梱包資材のリサイクルによる梱包資材費の低減	百万円	439	422	422
合計		百万円	1,818	2,850	3,318